

as^{アス}

2020.03.05

第2号

明石高専建築会 会報誌 as [アス] 第2号 発行日2020.03.05 発行 明石高専建築会



明石高専建築会

<http://anctkenchikukai.sakura.ne.jp/>

明石高専建築会



as^{アス}の由来

「as」と書いて「アス」と読みます。これには、他の単語と結びついてさまざまな働きをする英単語の「as」の多様性に加えて、「us（私たち）」や日本語の「明日」といった意味が込められています。また、明石高専建築学科を表す「a」に複数形の「s」を付け加えることで、在学生、卒業生、教職員等から成る建築会会員を表しています。



明石高専建築会 会報誌

「点と点をつなぐ」

明石高専建築会 執行代表理事 大久保 武志

「あいさつ」

明石高専建築学科 学科長 平石 年弘

「報告/第6回建築会賞」

「事業紹介」

【PICK UP! / 淡路研修旅行 ―瓦コースターづくり体験―】

表瓦株式会社 代表取締役社長 表 宏明 [28期]

「特集：卒業生の今」

【暮らしが豊かになる家づくりを目指して】

一級建築士事務所ゆずりは設計室 代表 東山 烈 [32期]

【座談会 ～元高専女子トーク～】



表紙写真：ゆずりは設計室

P5～P6 で特集

— 点と点をつなぐ —

2018・2019年度執行代表理事に選任されました28期大久保武志と申します。平素は明石高専建築会の活動に理解、ご支援いただいていること、会員の皆様には厚く御礼申し上げます。2018年6月に創刊いたしました建築会会報誌「as」も第2号をお届けできることをうれしく思います。

今期の執行役員会の指標として、「点と点をつなぐ」を掲げました。これは「会員同士の繋がる機会を増やしたい」という想いを端的に表した言葉であり、私たち自身の体験から選んだ言葉です。私たちはこの会に関わり様々な活動の場を通じることで、旧友たちとの再会だけでなく、学生時代には関わることのなかった全く知らない世代の方々、建築だけにとどまらず様々な場で活躍する会員たちと新たな繋がりができました。

そこで知り合った方々とは、日常的な相談だけでなく、時には仕事の相談をしたり、時には一緒に演劇を見に行く機会を与えてくださったりと、知見を広げるたくさんの刺激を与えてくれました。

明石高専建築会執行役員会では、これまでも明石高専建築会賞、進路相談セミナー等、在学生・卒業生の交流を通じて、会員同士の繋がる形を模索し、実践してきました。共通の学び舎で得た知識に経験が合わさり、様々な場で活躍する会員同士が再び出会うことで、新しい発見や楽しい出来事が生まれることを期待し、その小さなきっかけづくりに取り組みたいと考えています。ホームページやFacebookでも各種イベントをお知らせしておりますので、お時間ございましたら、ぜひ参加いただければと思います。

この会報誌の発行についても、建築会の現在地を皆様にお伝えすることで、新たな繋がりに発展することを期待しております。会員の皆様のご意見も伺いながら、大切に育てていきたいと考えておりますので、どうぞご支援くださいますよう、よろしく願いいたします。

明石高専建築会 執行代表理事 大久保 武志 (28期)



2018年6月5日 第14回 総会 集合写真



明石高専建築学科 学科長
平石 年弘

明石高専建築学科卒業生の皆さん、こんにちは！
建築学科棟の北側に渡辺先生が定年退職される前の置き土産として、学生と一緒に建設された茶室を老朽化に伴い解体することになりました。茶室建設に関わられた学生の皆さんも今は30才代の良い大人になられていることと思います。
茶室を解体しながら、建築会と学生、教職員が協働して何か作るとしたら何ができるか一人で妄想してみました。思いついたのが、災害時にはシェルターになるサバイバル・ハウスなんかどうでしょうか？今後、気候変動による自然災害の脅威も増えるでしょう。必要最小限のエネルギーは自給し、環境負荷も最小限のシンプルな生活を支え、その土地の気候に適したコンテナハウス、これならできるかな。完成したら、住み込んで実証実験するのも楽しいかも。

報告 / 第6回建築会賞

2019年3月9日『明石高専建築学科49期生卒業研究展』内にて「第6回建築会賞公開審査会」を開催いたしました。建築会賞とは、卒業生である建築会会員が審査員となり、日ごろの経験から得た独自の視点にて卒業研究を評価し、その年の最も優れた卒業研究を決定し、賞を与える企画です。今回は学生からの要望もあり、卒業生による審査も公開で行いました。最優秀賞である森崎さんの卒業研究は、障害者の方に行ったヒヤリングから健常者とは違う空間や場所の認識の違いを学び、それをプランや仕上げにいかした障害者に寄りそった提案が高く評価されました。

【最優秀賞】

森崎 加鈴 『みちひらき(設計) -中途視覚障害者のための暮らし場の提案-』

【奨励賞】

- 秋山 千記 『香港深水埗地区の伝統を継承するレストラン兼住宅の設計(設計)』
- 亀川 翔玄 『想定南海トラフ地震動を受けるSandwich免震構造物の応答低減効果について』
- 楠本 真穂 『ミシシippアカミミガメの堆肥化に関する研究』
- 多田 裕亮 『CLOUD(設計)～日本アニメーション総合メディアセンター～』

〈審査委員長〉

宮脇 正博 (1期/明石高専建築会理事長)

〈特別審査員〉

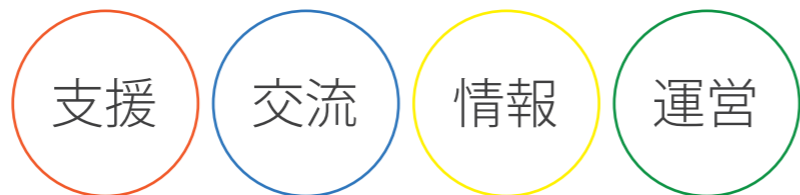
- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| 神家 昭雄 (4期/神家昭雄建築研究室) | 宮崎 時弘 (16期/伊藤喜三郎建築研究所) |
| 松村 慶世 (19期/松村西尾合同会計事務所) | 松木 美貴 (37期/株式会社TOKS) |
| 石原 将稀 (43期/小西建築設計事務所) | 森井 拓也 (44期/第1回建築会賞最優秀賞受賞) |

(※敬称略、勤務先は開催当時のもの)

明石高専建築会 事業紹介

明石高専建築会は、建築の学術、芸術、教育の発展に寄与し、会員相互の親睦を図ることを目的として、1991年4月に創設されました。会員は正会員（卒業生）＋準会員（在学生）＋特別会員（教職員等）により構成されており、現在その数は2,000名を超えています。

また、「支援」「交流」「情報」「運営」の4つの柱から成る事業については、理事会の承認を得て、執行代表理事により選出された執行役員を中心に運営されています。ここでは、建築会の主な活動内容について詳しくご紹介します。



[左]2019年3月9日 第6回建築会賞 [右]2017年6月10日 2017年度進路相談セミナー

学生の将来を応援するための建築会の中心的な事業です。

(写真左) 卒業生の目線でその年の最も優れた卒業研究を選ぶ「建築会賞」は、建築業界をはじめ実社会の多彩な分野で活躍する卒業生が審査するという評価方式が毎回好評を得ています。

(写真右) 就職や進学に対する学生の素朴な疑問や悩み卒業生が答える「進路相談セミナー」は、社会を身近に感じられる場として学生からの評判も高く、今年も20名を超える卒業生の方に参加していただくことができました。



2017年10月21日～22日 2017年明石高専建築会見学旅行

会員相互の交流を目的として有名建築物を中心に全国各地を巡ります。

- 世界遺産石見銀山と出雲大社を巡る旅（平成23年）
- くろしおでいく那智勝浦・熊野世界遺産の旅（平成25年）
- 世界遺産国立西洋美術館を巡る旅（平成29年）
- 淡路研修旅行ー瓦コースターづくり体験ー（平成30年） **PICK UP!**
- みんなで宝塚歌劇を見に行こう!!（令和元年）



明石高専建築会 会報誌「as」編集打ち合わせの様子

様々なメディアを利用して建築会の活動を発信します。

- 公式ホームページ <http://anctkenchikukai.sakura.ne.jp/>
- 公式Facebook
- 定期的に執行役員による近況報告を投稿しています。
- 会報誌「as」
- 年に1回建築会の活動をまとめて紹介しています。



理事会 会議風景

定期的に会議を開催して精力的な事業活動を展開しています。

- 執行役員会（毎月開催／執行役員）
- 理事会（毎年開催／理事＋執行役員）
- 総会（隔年開催／建築会会員）

PICK UP!

淡路研修旅行 ー瓦コースターづくり体験ー

28期生の表です。私は明石高専を卒業後、豊橋技術科学大学に進み大学院を修了し、大阪の中堅ゼネコンの現場監督を経て家業の瓦工事に戻りました。瓦の仕事をしていると身近に瓦があるので「みんな瓦の事を知っていて、それでも選ばれなくなっている」と思っていたんですが実際には瓦の事はほとんど知られておらず、「よく分からないから選ばない」というのが実態でした。なんとか瓦の事を知ってもらいたいとの一念でSNSでの発信をしたり、業界の仲間とイベントを企画したりしています。

明石高専建築会では2年に1度、建築見学会と称して「世界遺産石見銀山と出雲大社を巡る旅」や「くろしおでいく那智勝浦・熊野世界遺産の旅」などの旅行を企画し、先輩、後輩の垣根をこえた旅行を企画・運営してきました。

しかし、1泊とは言え旅行となると仕事の関係や小さいお子様がいる家庭ではなかなか参加し難いという意見も頂いてきました。そこで「プチ見学旅行」はどうかと企画したのが今回の「建築研修会」です。兵庫県は日本の瓦の三大産地と言われる淡路島がありますが、建築に携わっていてもなかなか瓦の事を知る機会はありません。そこで瓦工場内にギャラリーを併設し、そこで瓦コースター製作体験をしている南あわじ市の大栄窯業さんにご協力していただきました。

瓦コースター製作は瓦の原料になっている粘土に自分の好きな柄を刻んで、瓦と同じ工程で焼成する事によって自分だけのオリジナルのコースターを作る事が出来ます。大人になると粘土に触れる事がなくなってしまうのですが、いざ始めてみると大人も子供も時間を忘れて熱中してしまいます。焼成に少し日にちがかかるのでその場で持ち帰る事は出来ませんが、焼きあがったコースターはきちんと作った人の手元に届きます。いぶしがかかった瓦のコースターは結露を吸ってくれるので夏場に冷たい飲み物を入れたコップを置くのもってこいです。

デザインセンスがないなあって人にはいくつか定形の型紙があるのでその中から選んで作る事も出来るので大丈夫!!なかなか淡路島に行く事ないなあって人も一度体験してみてください。



[写真左] 表氏(28期生) [写真中央・右] コースター製作体験の様子

大栄窯業株式会社

Address : 〒656-0341 兵庫県南あわじ市津井2124-2
Tel : 0799-38-0500 Fax : 0799-38-0930
Mail : info@daieibrand.com
HP : <http://www.daieibrand.com>
Open : 8:00~16:50 (日曜定休) その他夏季・冬季休暇あり、詳しくはお問合せください。



『暮らしが豊かになる家づくりを目指して』



一級建築士事務所
ゆずりは設計室 代表

東山 烈 [32期]

プロフィール

- 1981年 兵庫県神戸市に生まれる
- 1994年 明石市立人丸小学校卒
- 1997年 明石市立大蔵中学校卒
- 2002年 国立明石高専 建築学科卒
- 2005年 国立明石高専 専攻科建築・都市システム工学科卒
- 2005年 同級生と設計事務所を共同開設
- 2007年 株式会社atelier waon入社
- 2009年 独立 現在の事務所を開設

ゆずりは設計室

Address : [ショールーム兼アトリエ]
〒655-0043 兵庫県神戸市垂水区南多聞台8丁目1-404
Mail : info@yuzuriha-design.com
HP : http://www.yuzuriha-design.com

1995年1月17日、兵庫県南部を襲った阪神・淡路大震災が発生した当時、私は中学1年生でした。明石の家を飛び出して神戸まで自転車で向かうと、祖母の家は半壊、親戚の家も傾いて平行四辺形になっているという惨状。そこで目にした光景は、大人になったいまでも忘れられません。当時、子どもながらに「家を建てる時は地震に耐えるものを作らないといけない」と思ったことを覚えています。

最近では、震度7の地震が立て続けに2度発生したり、これまで経験したことのない豪雨におそわれたりと、予測不可能な自然災害が多発しています。だからこそ、災害に強く、長く住み続けられる家をつくりたい。振り返ってみると、あの震災での経験が、私の家づくりに対するこだわりの礎となりました。

高専に入学してからの5年。これといってやりたいことを見つけられず、漫然とした思いを抱えたまま専攻科に進んだ私は、何かを変えたいという思いで、学校を休学

して1年間イギリスを拠点に欧州8カ国を放浪する旅へ出ました。異国の地で目にした建造物や街並み、そこで営まれている人々の生活は、私の人生に大きな影響を与えてくれました。建物は古く、最先端の設備が整っているわけでもない。だけど、そこに住んでいる人たちが心身ともに豊かな生活を送っている姿に感銘を受け、人の住まいに携わる仕事に就きたいと思うようになったのです。

しかし、帰国していき就職活動を始めたところ、就職氷河期だったこともあり、求人はほとんどなく、自分で会社に直接電話をかける日々。「やりたいこと」と「どこでもいいから就職しなければならぬ」という思いの狭間で悩み、結局思うような結果は得られませんでした。

その後、卒業と同時に同級生と設計事務所を設立、といったかなり無謀なことをやった時期もありましたが、25歳の時に高専の先輩が経営する設計事務所に入社。仕事量が多く、がむしゃらに働く毎日でしたが、建築や仕事のイロハを徹底的に学べたのもこの時期です。それから2009年に独立し、現在は「ゆずりは設計室」という一級建築事務所を営んでいます。事務所は築50年の団地の一室を購入し、リノベーションした木のぬくもりあふれる空間です。



事務所 玄関

私の仕事は分離発注方式というシステムを採用しているため、住宅を設計するだけでなく、材料の発注から工事を担当する職人の手配、現場の監理なども行います。ハウスメーカーと違って工務店などを介さないぶん手間はかかりますが、お客さまの家づくりに対する思い

が実際に家を建てる職人たちへ伝わりやすいところはメリットのひとつです。お客さまの见えない思いも汲み取り、それを形にする仕事にとってもやりがいを感じています。



事務所 和室

私は年に1度、高専の3、4年生を対象にした就職説明会で後輩たちと話をすることがあります。そこで、かつての私のように「やりたいことが見つからない」という声を多く聞きます。確かに3、4年生のときに、自分のやりたいことを明確に見つけられるほうが難しいでしょう。私自身が彼らと同じ悩みを抱えていたので、その気持ちはよく分かります。そんな彼らに対して私は、いま見つからないのなら、遊びながらでもいい。「どんなことでもやってみよう」と挑戦してみて、問題が出てきたら立ち止まって解決方法を考えたらどうかと、アドバイスをするようにしています。自分にとっては失敗だったことも、「あの時間こそが必要だった」と感じられるときが、きっと来るはず。かくいう私がいま、この仕事をしているのも、進路に悩んだ5年間や半分遊びで放浪していたヨーロッパでの生活、就職先がなかなか見つからなかった経験があってこそ。すべては「いま」に繋がっているのだと、改めて思います。



事務所 浴室



写真左から ゆみこ、ふみこ、けいこ、あすか(敬称略、いずれも1996年明石高専入学の31期生)

『座談会 ～元高専女子トーク～』

今回は31期の4人が集まり、好き勝手にしゃべります。高専女子の実態とは？現在はどんな生活を送っているのか？最後には、今の高専女子や未来の高専女子に向けてのメッセージも飛び出します！

プロフィール

(いずれも1996年明石高専入学。掲載内容は2019年6月当時のもの。)

- ゆみこ [31期] (写真左から1番目)
児童館勤務
二児の母
- ふみこ [31期] (写真左から2番目)
子連れイベント開催、学習塾運営
三児の母
- けいこ [31期] (写真左から3番目)
工務店勤務
一児の母
- あすか [31期] (写真左から4番目)
事務員
三児の母

高専に入るきっかけ

ふみこ(以下F):じゃ早速、まずは高専に入ろうと思ったきっかけなど教えてもらえれば。**けいこ(以下K)**:私は昔から間取りを見るのが好きで。**ゆみこ(以下Y)**:分かる！間取りきっかけの子は結構いたよね。**K**:私は小3から建築がしたかったの。**F**:ええ！それは志高いな～。**Y**:私は小5かな。中学生になって、公開講座とか参加して。その時に八木先生に会った。**F**:私は中2の時に阪神淡路大震災があったのが大きなきっかけかな。その後のテレビの特集とかで『まちづくり』って大切やなあって。あと、家から近いから(笑)。徒歩3分。起きてすぐ学校行っても大丈夫。**Y**:なんと不純な動機。

あすか(以下A):それで言ったら、私は地元の高校に行きたくなかったからかな。受験の時期まで高専なんて知らなかった。**F**:さっきも言ったみたいに、当時は震災の翌年でことで、やたら競争倍率高かったよね。推薦だけでも60人以上受けに来てたよね。



[左]1年生 造形の授業中 [右]2～3年生 学生会活動

在学中の思い出

Y:研修旅行(中国)楽しかった。みんなでチャイナ服でコスプレしたりね。**F**:学生会ばかりやってたかも、クラスの話はあんまり記憶にない。**Y**:高専祭実行委員会とかやったわ。**F**:テスト前とか、教室で勝手にテスト対策講座とかやってたなあ。何人かで集まって教え合うみたいなの。**A**:え？それ何？知らない。**K**:あすかはさっさと帰って自分で勉強できて、優秀やったからそこには参加してへんわ。**F**:私、構造得意やったから黒板に「荷重がここでガーっとなるから、モーメントがここにガーっとかかって」とか説明してた気がする。**K**:その、擬音がやたら多いの全然分からなくて！そのくせ一人で疑問点見つけて、勝手に問題解決するし。**Y**:私は、ふみこの擬音語の講義好きやったけど。



[左]4～5年生 テスト勉強 [右]研修旅行 天安門広場

卒業後の進路

K:建築系の会社に就職した。主に確認申請やってる会社。**Y**:私は平石先生の研究室で環境系を学んだことがきっかけで技科大のエコロジー工学科に編入した。**F**:私は専攻科。家から近いし(笑) **A**:私、美容の専門学校。その時の仲良くしてた友達が美容学校行って、面白そうやなあって。**K**:みごとにみんなバラバラ。

現在の状況:仕事は?家庭は?

F:私は、個人事業主として細々と活動してる。子育て支援関連のイベントを企画運営したり、保育園や支援センターから依頼を受けて子育て講座をやったり。あとは地域の防災を考えるチームに入って活動したりもしてる。**K**:私は高専卒業後に設計事務所にしばらく勤めて、そ

の後、結婚出産。しばらく主婦や在宅で機械CADの仕事とか請け負ってたり内職したり…。6年前からパートではあるけど工務店で働いている。お客様との打ち合わせ等、正社員に近い働きはしているけど、子どもとか家庭のことを考えてパートのまま。時給なんて全然上がらないし。まあ、その分休みの日なんかはかなり融通が利くので、会社には感謝してる。**Y**:私は、大学編入して院には進まずに環境認証の会社で仕事をした。その後、結婚。夫が転勤族だったので結婚を機に退職。今は宮崎県に住んでいます。下の子が幼稚園に入ってからパートで働いたり。今は児童館の先生やってる。もともとイベントとか好きだから、この今の仕事はやりがいがある。**A**:私は(自営業やってる)夫の仕事を手伝ってたけど、もうすぐ別の会社で働く予定。夫の会計事務所を手伝いつつ、自分でも会計士の資格勉強中でゆくゆくは別の会社で会計やりたい。今の状況だとどうしても家計費と自分の働いたお給料があいまいになってしまうから、しっかり自分で稼いだ分は自分で残しておかなきゃと思ってる。何があるか分からないから。

現在の高専女子(後輩)に一言

Y:自分でちゃんとやること決めて動けないと、厳しいと思う。**K**:建築士の資格は卒業後出来るだけ早い時期に取るべき!仕事しながらとかは勉強するのが大変。まして、結婚して出産したら全然、時間が取れない。**F**:ちなみに私、妊娠7ヶ月でお腹大きい時に実技試験受けに行ったけどね。結局落ちたけど(苦笑) **A**:資格といえば、宅建とか行政書士とか。受験資格ないもので、学生時代にとれるものとはっておけば、いつか転職や再就職の時にも使えると思う。**F**:あと、結婚するなら高専男子(爆)なんせ、優しい。あといろいろ楽。在学時によさそうな子を捕まえる。**Y**:えー？それがオチ??

※ちなみに、今回集まった4人中3人は夫が高専生でした(他学科、他高専)



座談会の様子

会員情報

明石高専建築会の会員の種別は、「正会員」「準会員」「特別会員」3つに分類されます。

- (1) 「正会員」 明石高専建築学科の卒業生、明石高専専攻科（建築系）の在校生及び修了生、その他理事会において承認を受けた者
- (2) 「準会員」 明石高専建築学科の在学生
- (3) 「特別会員」 明石高専建築学科及び明石高専専攻科（建築系）の教職員等（元教職員及び非常勤講師を含み、既に会員資格を有する者は除く）、その他理事会において承認を受けた者

沿革

- 1962年4月 明石工業高等専門学校 創設（機械・電気・土木（現 都市システム）工学科）
- 1966年4月 建築学科 新設
- 1991年4月 明石高専建築会 創設
- 1996年4月 専攻科 設置（建築・都市システム工学専攻）

役員

理事長	宮脇 正博	(1期)	執行代表理事	大久保 武志	(28期)
副理事長	中川 司朗	(3期)	執行副代表	辰巳 史子	(31期)
理事	西部 宏	(5期)	執行会計	岩本 泰明	(33期)
	八木 雅夫	(8期)	執行役員	表 宏明	(28期)
	福島 重治	(10期)		荘所 直哉	(28期)
	田中 清	(14期)		東山 烈	(32期)
	小川 直樹	(15期)		川上 良平	(33期)
	藤本 明生	(15期)		橋 佑一郎	(33期)
	岩井 成衡	(19期)		松尾 健治	(33期)
	遊川 恵治	(24期)		山本 真	(43期)
	馬頭 雄一	(24期)		橋 一仁	(44期)
	羌 叡應	(28期)		片山 啓太	(47期)



編集後記

おかげさまで第2号を発行することになった会報誌「as」ですが、皆さまお楽しみいただけましたでしょうか。自分たちの手で会報誌を制作するというのも実はなかなか大変な作業で不手際もあったかと思いますが、皆さまのもとへ無事お届けすることができてひとまずほっとひと安心してるところです。

と同時に、作業を終えた今となっては少し気の抜けた感じもしています。というのも、締め切り間近のいわゆる追い込み時期ともなると、制作現場はさまざまな世代の卒業生が入り乱れてのお祭り騒ぎで、まるで学生時代の卒業研究や課題を仕上げているような懐かしい感覚に襲われたからです。

恐らく本誌の制作に協力してくれた他の卒業生たちも同じように感じているのではないのでしょうか（間違っていたらごめんください）。そして思うのです。社会に出てからも私たちにはさまざまな課題が待ち受けていますが、皆で協力すれば乗り越えられない壁などないのではないかと。

本誌を読んで少しでも建築会の活動にご興味を持たれた方は是非ご連絡ください。建築会は常に在校生や卒業生の皆さまとともにあります。

明石高専建築会 執行役員 川上 良平（33期）

募集

建築会の事業に参加したい
進路相談セミナーに参加したい
WSしたい・産学連携

あなたのやる気
待っています

あなたの活動
PRしませんか？

明石高専建築会

お気軽にお問い合わせください